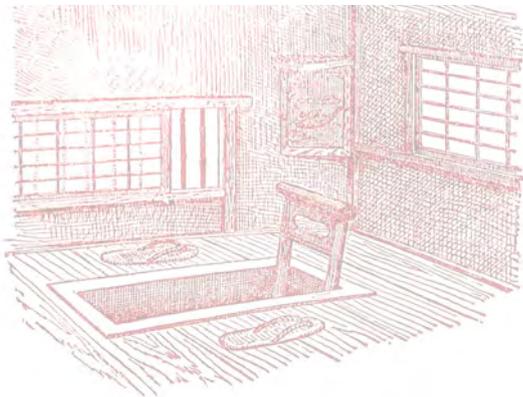


2021年 廁うんちくカレンダー

私は、京都や奈良の寺院へ行つて、昔風の、うすぐらい、そうしてしかも掃除の行き届いた廁へ案内されるごとに、つくづく日本建築の有難みを感じる。茶の間もいいにはいいけれども、日本の廁は実に精神が安まるように出来ている。それらは必ず母屋から離れて、青葉の匂や苔の匂のして来るような植え込みの蔭に設けてあり、廊下を伝わって行くのであるが、そのうすぐらい光線の中にうすくまっつて、ほんのり明るい障子の反射を受けながら瞑想に耽り、または窓外の庭のけしきを眺める気持は、何ともいえない。漱石先生は毎朝便通に行かれることを一つの楽しみに数えられ、それはむしろ生理的快感であるといわれたそうだが、その快感を味わう上にも、閑寂な壁と、清楚な木目に囲まれて、眼に青空や青葉の色を見ることが出来る日本の廁ほど、恰好な場所はあるまい。そうしてそれには繰り返していうが、或る程度の薄暗さと、徹底的清潔であることと、蚊の呻りさえ耳につくような静かさとが、必須の条件なのである。私はそういう廁にあつてしとすと降る雨の音を聴くのを好む。殊に関東の廁には、床に細長い掃き出し窓がついているので、軒端や木の葉からしたり落ちる点滴が、石燈籠の根を洗ひ飛び石の苔を湿おしつと土に沁み入るしめやかな音を、ひとしお身に近く聴くことが出来る。まことに廁は虫の音によく、鳥の声によく、月夜にもまたふさわしく、四季おりおりの物のあわれを味わうのに最も適した場所であつて、恐らく古来の俳人は此処から無数の題材を得ているであらう。されば日本の建築の中で、一番風流に出来ているのは廁であるとも云えなくはない。総べてのものを詩化してしまう我らの祖先は、住宅中で何処よりも不潔であるべき場所を、却つて、雅致のある場所に変え、花鳥風月と結び付けて、なつかしい連想の中へ包むようにした。これを西洋人が頭から不浄扱いにし、公衆の前で口にすることをさえ忌むのに比べれば、我らの方が遙かに賢明であり、真に風雅の真髄を得ている。強い欠点をいうならば、母屋から離れているために、夜中に通うには便利が悪く、冬は殊に風邪を引く憂いがあることだけれども、「風流は寒きものなり」という斎藤緑雨の言の如く、ああいう場所は外気と同じ冷たさの方が気持がよい。ホテルの西洋便所で、スチームの温気がして来るなどは、まことにイヤなものである。ところで、数寄屋普請を



好む人は、誰しもこういう日本流の廁を理想とするであらうが、寺院のように家の広い割りに人致が少く、しかも掃除の手が揃っている所はいいが、普通の住宅で、ああいう風に常に清潔を保つことは容易でない。取り分け床を板張りや畳にする、礼儀作法をやかましくいい、雑巾がけを励行しても、つい汚れが目立つのである。で、これも結局はタイルを張り詰め、水洗式のタンクや便器を取り付けて、浄化装置にするのが、衛生的でもあれば、手数も省けるといふことになるが、その代り「風雅」や「花鳥風月」とは全く縁が切れてしまう。彼処がそんな風にならばと明るくて、おまけに四方が真っ白な壁だらけでは、漱石先生のいわゆる生理的快感を、心ゆく限り享樂する気分になりにくい。なるほど、隅から隅まで純白に見え渡るのだから確かに清潔には違いないが、自分の体から出る物の落ち着き先について、そのまま念を押さずとものことである。いくら美人の玉の肌でも、お尻や足を人前に出しては失礼であると同じように、ああムキ出しに明るくするのは余りといえは無算千万、見える部分が清潔であるだけ見えない部分の連想を挑発させるようにもなる。やはりああ云う場所は、もやもやとした薄暗がりの光線で包んで、何処から清浄なり何処から不浄になるとも、けじめを朦朧とぼかして置いた方がよい。まあそんな訳で私も自分の家を建てる時、浄化装置にはしたもの、タイルだけは一切使わぬようにして、床は楠の板を張り詰め、日本風の感じを出すようにしてみたが、さて困つたのは便器であつた。と云うのは、御承知の如く、水洗式のものには皆真っ白な磁器で出来ていて、ピカピカ光る金属製の把手などが附いている。ぜんたい私の注文を云えば、あの器は、男子用のも、女子用のも、木製の奴が一番いい。蠟塗りにしたのは最も結構だが、木地のままで、年月を経るうちには適当に黒ずんで来て、木目が魅力を持つようになり、不思議に神経を落ち着かせる。分けてもあの、木製の朝顔に青々とした杉の葉を詰めたのは、快いばかりでなく些の音響をも立てない点で理想的と云うべきである。私はああ云う贅沢な真似は出来ないまでも、せめて自分の好みに叶った器を造り、それへ水洗式あつたらを応用するようにしてみたいと思つたのだが、そう云うものを特別に眺めると、よほどの手間と費用が懸るのであきらめるより外はなかった。そしてその時に感じたのは、もちろん照明にしろ、便器にしろ、文明の利器を取り入れるのに勿論異議はないけれども、それならそれで、なぜもう少しわれわれの習慣や趣味生活を重んじ、それに順応するように改良を加えないのであろうか、と云う一事であつた。

谷崎潤一郎 「陰翳礼讃」より

トイレは独り静かに過ごせる城。このカレンダーをトイレで
ご使用いただき、ゆっくりと、うんちくを傾けてください。

江戸庶民のトイレ

江戸庶民の住まい長屋の奥には共同の場がある。そこに、井戸と洗い場、ごみ溜、稲荷、そして惣後架がある。

井戸は地下水を汲み上げる井戸ではなく、神田上水、玉川上水等の上水から木管等で長屋にひかれた水を溜めた石積みの穴からつるべ桶で汲む。惣後架の尿尿は肥料として商品になり定期的に農家と取引された。江戸では尿尿とも大家の収入となり、関西では尿は大家の収入だが尿は店子の収入となった。

江戸の川柳に

年の暮れ 大家は尻で 餅を搗き
とある。

当時は今頃、その餅を食べてたのであろう。



江戸庶民の住宅 長屋のトイレ周辺を描く



ごみ溜と惣後架 (そうごうか・かわや)



時代劇のセット 惣後架と井戸



関西の惣雪隠は床高で構造は上

2021年		1月				
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

参考資料

落語と江戸風俗 教育出版
江戸深川資料館

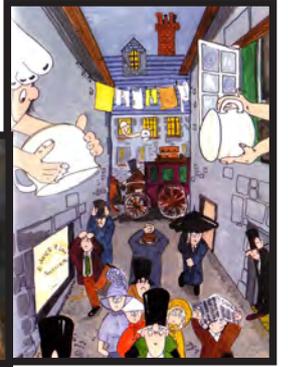
映画・テレビで

映画、テレビを見ていると、その時代のトイレ事情をよく検証して映し出していることに気づかされる。

アガサクリスティーの「名探偵ポアロ 25 ヒックリーロード」の1シーン、ロンドン警視庁スコットランドヤードの警部(英国人)がポアロ(ベルギー人、フランス系)の住いに宿泊した朝、ビデの使用目的を知らず、ビデで顔を洗ってしまう。フランスではデパートのカタログにも載って一般的なビデも、ドーバーを挟むと社会的地位のある紳士にも知られていないという文化のちがいを考えさせる。

中世のヨーロッパにはトイレという場はなくチャンバーポットというオマルを使用するのが普通であった。使用後は路上に空けるのが普通であった。その情景はCity Showerといわれて、帽子、コート等は必需品。

1998年アカデミー賞作品「恋におちたシェイクスピア」の1シーンと16世紀英国の都市の様子を"頭上に注意!!"と描いた漫画。



2021年

2月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

新しい公共トイレ



日本が世界に誇る「おもてなし」文化の象徴として渋谷区内 17 カ所に誰もが快適に使用できるという公共トイレが設置される、そのうちの 3ヶ所。



2021 年 3 月

THE TOKYO TOILET
<https://tokyotoilet.jp/>

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

草、木に囲まれたなかで



千葉の小湊鉄道飯給駅（いたぶえき）に広さ 200㎡を杉丸太で囲んだ中央部に全面ガラス張りの個室トイレ（女性専用）が設置されている。落ち着いて過ごせるか



2021年 4月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

外を見ながら



スケスケトイレが話題の昨今、2003年スイスバーゼル市の街中に鏡張りのトイレが出現、普通とは逆に中から外がスケスケ、さぞ落ち着いた時間を過ごせたことであろう



マジックミラーで外から中は見えない

2021年 5月

参考文献

designing public toilet PREGEON

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

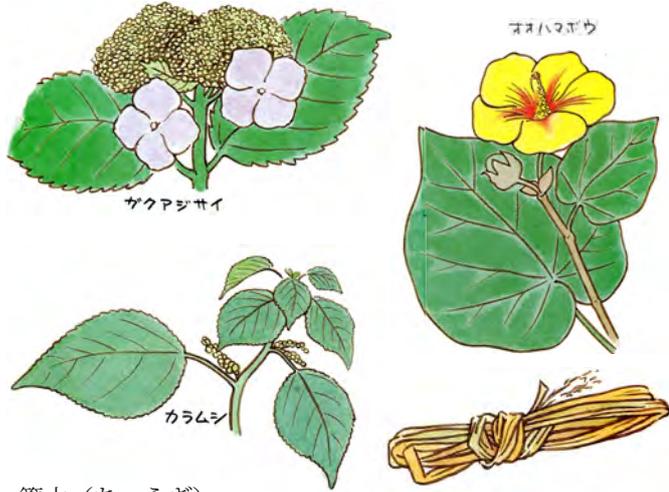
おとしがみのまえ

紙がトイレで使われる前は何か・・・

日本では草、木が使用された。ガクアジサイ、オオハマボウ、カラムシなどの葉を少ししなびさせ、カラムシの茎を割いて内側の柔らかい部分、イナワラを束ね、上流社会では箒木（ちゅうぎ）という木のへらを使用。

テルソリウム

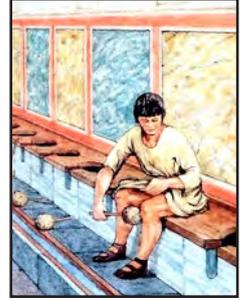
古代ローマ人は、テルソリウムと呼ばれるスポンジが先端に付いた棒を使っていた。スポンジとは海の生物で無脊椎動物、海綿です。地中海の海綿は柔らかく肌ざわり良く、現在も化粧用に需要がある。



箒木（ちゅうぎ）



ギリシャの市場に山積みになった海綿



古代ローマのトイレ想像図

ベッソイ

古代ギリシャや古代ローマで排泄後に使われていた陶器の破片。シチリア島（左）とクレタ島（右）の古代ローマのトイレから、2000年近く前のベッソイが発掘された。



鳥羽離宮跡地出土箒木（ちゅうぎ）

丁寧に加工されたもの



2021年

6月

参考資料

おしりをふく

福音館

National Geographic 2020.4.20

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

あさがお



西洋あさがお



変種あさがお



八重咲あさがお?

2021年

7月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

イスラムのトイレ

このトイレはイラン式です。
 入り口のドアの方に顔を向けて座るようにしてください。
 (日本式にドアに背を向けて座りますと、紙に手が届きません)
 また、紙の隣にあるシャワーはビズです。
 (日本人には使い慣れないため、不用意に触らぬようお願い致します)
 ご協力よろしくお願い致します
 イラン イスラム共和国大使館



左はイラン大使館のトイレに貼られたものである。大使館を訪れる方々はある程度の教養人だと考えられる、それでもこのお願いである。

イスラムではトイレは排泄の場としては勿論、加えて身を清める場、日本での手水場としての意味を持つ。イスラムのトイレに水は不可欠である。

用を足した後はトイレトーパーでなく水で洗って、その後、家庭ではタオルで拭く、外ではペーパーを使う。男性は立ションは禁止である。当然、宗教的制約を受けるものである。まずカーベ神殿(メッカ)に向かってしゃがんだり、お尻を向けてはいけない。トイレは神殿の方向に対して直角なるように作られねばならない。したがって、我が国のようにドアに向かって横に座ることはない。また、ドアに背を向けることは日本以外にないようだ。



左 イスタンブール空港

右 ダマスカス レストラン



2021年 8月

2010年11月の香を再聞

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

海のシルクロード

古の昔より今でも、海のシルクロード、アラビア海、インド洋を航海するダウ船のトイレットは究極の個室水洗厠である。



船尾横の2つの箱が厠



上からみると周囲を囲った箱には穴が
あけられ、脇には綱のついたバケツが
ある。さすがイスラムの世界である。



バケツで海水をくみ上げ、
手を清める準備をする。



究極の
露天水洗トイレット



ダウ船（ダウせん、英語:dhow）は、
アラビア海・インド洋で活躍した伝
統的な帆船。1本か2本のマストに
一枚ずつの大三角帆を持つ。

2021年

9月

参考画像
NHK 海のシルクロード

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

Dropping は社会問題

ヨーロッパではペットの落し物の後始末の問題が社会問題になっている。我が国のように個人で始末用のもの準備することは期待できず、行政が専用の袋を街角に準備している。それでもなかなか難しいようで苦労している。



始末用袋準備場所 フランス
ville propre = きれいな街

南欧のフランス、スペインで問題が大きく、特にスペインでは宣伝・啓蒙切手にも取り上げられ、専用の袋を利用しゴミ箱というデザインが描かれている。

no te olvides = 忘れてはいけない valores civicos = 市民の価値
por una ciudad mas limpia = よりきれいな都市のために

同じ valores civicos = 市民の価値シリーズ切手には下のような社会問題も取り上げられてることから dropping の深刻さがうかがえる。



児童労働規制



文化の多様性尊重



人身売買との闘い



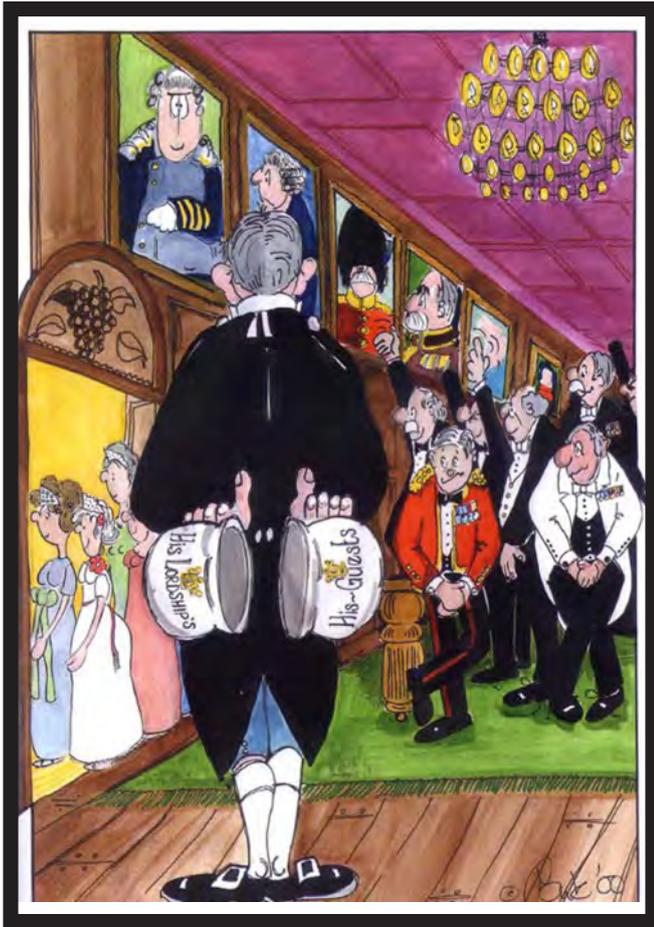
始末用袋

2021年 10月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

身分を問わず苦労した

貴重な戸外の厠は そう自由には使えなかった時代が長く
高緯度の英国ウェールズ地方、冬は早く暗くなる



貴族の豪邸にも厠がなく、奉公人の大切な仕事
同じ物でも紳士と淑女用は区別するらしい



参考文献
PRIVIES OF WALES Tegai Publications
2010.3月の香を再開

2021年 11月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

World Toilet Day

曲り家・合掌造りの厠

古民家の厠は家族構成、気象条件などで異なる点はあるが基本は地中に大きな木製の便槽を埋め、その上に板を渡しただけの簡単な構造である。肥料として尿尿組みだしやすくするための構造であり、安全に姿勢を保つための縄が用意されても、夜間の使用の不便さ、清潔の保持、換気の困難さが偲ばれる。

岩手県紫波郡伝法寺星川家住宅



江戸時代後半の民家 当時、大切な南部馬を見守れるように家族の母屋と棟続きに直角に厠があり、曲り家と呼ばれる。厠は別棟である。



厠入口



命縄をつかみ跨いで

岐阜県白川村旧遠山家住宅



ベンチャとよばれる間口3間2室の便所、周りを漆喰たたきで囲まれた直径2m、深さ1.5mの便槽が20～40人の大家族の生活を支えた。板の上の箱は糞ベラ入れである。



参考 北上市みちのく民俗村
日本トイレ博物誌 INAX 出版

2021年 12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	